

コウノトリの歴史①(野生絶滅～野生復帰開始) (○・・・コウノトリに関すること ◆・・・渡良瀬遊水地に関すること)

2007	2005	1999	1990	1988	1971	1965	1963 ～97	1956	1950 ～60代	1939 ～45	1910 ～22	明治 時代	江戸 時代	年代
(参考：兵庫県立コウノトリの郷公園HP ・IPPM-OWS HP)														
主な出来事														
○全国各地にコウノトリが生息していたとの記録あり														
○乱獲され個体数が減少														
◆渡良瀬川改修工事 (渡良瀬川の流れをかえて、遊水地にする工事)														
○第2次世界大戦中、コウノトリの営巣に適した松の高木が伐採され、営巣場所が減少														
○強力な農薬の使用や環境改変により、えさ生物及びこれらを食べるコウノトリが負の影響を受け、野外個体数が激減														
○コウノトリが国の特別天然記念物に指定 (この年、コウノトリは20羽に減少)														
◆渡良瀬遊水地の調節池化工事 (この間に第1、第2、第3の3つの調節池が造られる)														
○兵庫県でコウノトリ一つがいを捕獲し、人工飼育が始まる														
○野生最後の1羽が兵庫県豊岡市内で保護されたが死亡 日本国内の野生コウノトリが絶滅														
○東京都多摩動物公園が国内で初めてコウノトリの繁殖に成功														
◆渡良瀬貯水池(谷中湖)供用開始														
○兵庫県立コウノトリの郷公園が開園														
○兵庫県がコウノトリ5羽を野外に放鳥 (再導入・野生復帰の開始)														
○兵庫県豊岡市内の人工巣塔で放鳥後初めての野外繁殖確認														



(写真提供：利根川上流河川事務所)

コウノトリの歴史② (渡良瀬遊水地へのコウノトリの飛来)

(○・●…コウノトリに関すること ◆…渡良瀬遊水地に関すること)

年月	主な出来事
2012年7月	◆渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録
2014年6月	◆第一回渡良瀬遊水地ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦(外来植物除去活動)開催 ◆国土交通省の掘削により環境学習フィールド3完成 ●渡良瀬遊水地上空を7羽のコウノトリが約15分間旋回(栃木県では27年ぶりの飛来)
2015年5月	●コウノトリ「ポンスニ(J0051・♀)」(歌の叔母)が小山市内の田んぼに飛来 ◆小山市内1基目のコウノトリ人工巣塔を設置(生井ゆりかご幼稚園南) ○千葉県野田市がコウノトリの放鳥を開始 ○福井県がコウノトリの放鳥を開始
2016年3月	○コウノトリ「きずな(J0127・♂)」・「ひかる(J0128・♂)」が千葉県野田市「こうのとりの里」で誕生 ●「きずな」が渡良瀬遊水地へ初飛来
2017年3月	○徳島県鳴門市で野外コウノトリのヒナが誕生(兵庫県豊岡盆地周辺以外で初) ○野外的コウノトリが100羽に達する ◆第一回おさかなワイワイ大作戦開催 ●「ひかる」が渡良瀬遊水地へ初飛来
2018年1月	◆小山市地域おこし協力隊第一号として伴瀬恭子隊員が着任 ●「ひかる」が渡良瀬遊水地に再飛来し、以後定着 ●渡良瀬遊水地内に初めて人工巣塔を設置(小山市内5基目)設置の翌日から「ひかる」が巣作り開始 ○コウノトリ「歌(J0181・♀)」が徳島県鳴門市の電柱巣で誕生 ◆国土交通省の掘削により人為攪乱型実験地完成 ●「ひかる」の定着半年を記念し、特別住民票交付・「コウノトリ写真展」開催



(写真提供:利根川上流河川事務所)



(撮影:内田 孝男 氏)



コウノトリの歴史③ (渡良瀬遊水地でのコウノトリの繁殖)

(○・●・・・コウノトリに関すること ◆・・・渡良瀬遊水地に関すること)

年月

主な出来事

2019
7

◆ラムサール条約湿地登録7周年記念「柳生博さん・さかなクンと未来へつなげよう小山市の宝渡良瀬遊水地」(柳生名誉会長が1年後の「ひかる」のヒナ誕生を予言)
●コウノトリ「ひかる」・「歌」・「カズ(J0237・♂)」・「レイ(J0238・♀)」が4羽同時に
「レイ(J0238・♀)」が4羽同時に
小山市下生井の「なつみずたんぼ」に飛来
◆生井桜づつみ公園ヨシ灯り初開催
◆令和元年東日本台風で渡良瀬遊水地が過去最大となる約1.6億³mを貯留



2020
3

●「歌」が渡良瀬遊水地に再飛来し、以後定着
●コウノトリ「歌」への特別住民票交付
●渡良瀬遊水地で「ひかる」・「歌」ペアが誕生!
④2羽の抱卵を推定
⑤ヒナ誕生(親鳥のえさの吐き出し行動から推定)
(兵庫県での野生復帰開始以降、東日本初!)
⑥ヒナ2羽の姿を初めて確認



2021
2

◆渡良瀬遊水地コウノトリ交流館オープン!
○野外のコウノトリが200羽に達する
●コウノトリ命名式(ヒナの愛称が「わたる」・「ゆう」に決定)
●「ゆう(J0328・♀)」巣立ち
●「わたる(J0329・♂)」巣立ち
●「歌」左脚を負傷、その後10月に死亡確認
◆地域おこし協力隊伴瀬隊員が任期満了に伴い卒業
●渡良瀬遊水地で「ひかる」・「レイ」ペアが誕生!
②産卵を推定
③ヒナ誕生(親鳥のえさの吐き出し行動から推定)
④ヒナ3羽の姿を映像で確認
(内1羽はその後親鳥の間引きにより死亡)
●コウノトリ命名式(ヒナの愛称が「りょう」・「のぞみ」に決定)
●「りょう(J0341・♂)」・「のぞみ(J0342・♀)」巣立ち
(渡良瀬遊水地での野外繁殖が2年連続で成功)

